

ベネッセ教育研究開発センター 高等教育研究所

社会、大学、高校の教育的接続から見た
調査・研究・開発に基づき、
これからの社会で活躍できる人材を
育成するための大学教育改革を支援します。

URL <http://benesse.jp/berd/koutou/index.html>

ベネッセ 高等教育

検索

高等教育研究所では、次のような領域の調査・研究を行っています

- ★大学教育を取り巻く環境、ステークホルダーを対象とした調査・研究
- ★大学・高校教育において必要な、社会が求める能力の定義とアセスメント研究開発
- ★項目反応理論に関連する心理測定学的手法の研究開発
- ★ベイズ統計学の理論や考え方の心理測定学への応用研究
- ★大規模アセスメントを安定的に実施するための「問題データベース」やCBT (Computer Based Testing) 研究開発

高等教育研究所では、大学の課題の解決に向けたコンサルティングとソリューションの提案を行います

ベネッセグループが保有する豊富な高校生・高等学校・大学生・大学についての情報・データと調査・研究の成果を生かして、大学の課題解決を支援します。

事例1 学部の移転に伴い貴学を志望する高校生の層はどう変化するか、エリアデータを基に学生募集施策を提案します。

事例2 学習意欲の低い学生を学びから脱落させないために、調査に基づいて教学改革のポイントを提案します。

そのほか、

- キャリア教育
- 中退抑制対策
- 学部新設・再編
- 就業力育成
- 授業評価
- 入試動向分析など

大学をめぐる多様な課題の解決策をご提案いたします。

編集後記

◎学生の主体的な学びを促す工夫は、すでにいろいろな大学で実践され、学生が成長しているのではないかと考えています。現場における実践事例を発掘し、先生方の課題認識、課題に対して考えたアプローチ、実践して分かったことや新たな課題などの情報を収集し、発信していくことは、我々に求められている役割の一つと考えています。課題の解決に向けて現場の先生方と一緒に取り組んでいきたいと思えます。(今西)

◎学生の主体性をどう引き出すかについての関心が高まっていますが、学生ばかりではなく大学教育の改革と質向上に関心を持つ我々自身が、主体的に課題解決を模索し実行しているか、意識と自省をすべきであると思えます。「主体性」論議を議論のための議論や評論に終わらせないためには、自分自身がまさに主体的に意見を持ち、課題解決ができなくてはなりません。学生だけの問題ではないことを痛感します。(三保)

同封の大学読者回答アンケートにご協力ください

編集部では、今回の企画掲載記事および今後の大学教育改革について、読者の大学の皆様のご意見を今後の誌面づくりに生かすために、別紙アンケート用紙を本誌に同封してお届けしております。

学務ご多忙のところまことにお手数をおかけしますが、アンケートのご記入と返信(FAX)にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

皆様のご意見をお待ちしております。

VIEW21 大学版 編集部

VIEW21 大学版 2012 特別号 Vol.3

2012年11月14日発行

発行人 山河健二
編集人 村上久乃
発行所 (株)ベネッセコーポレーション
教育事業本部 中学・高校・大学教育事業ドメイン

印刷製本 (株)ビーヴィオコーポレーション
編集協力 (有)ペンダコ
執筆協力 二宮良太
撮影協力 荒川 潤

VIEW21 大学版 〒206-8686 東京都多摩市落合1-34
特別号編集部 電話 042-356-0944

©Benesse Corporation 2012